

瑞穂ケーブルテレビ株式会社

平成 29 年度 第 10 回番組審議委員会

《議事録》

平成 29 年 12 月 8 日

局長 田中洋子

日時：平成 29 年 12 月 8 日（金）17：55～

会場：鮎はしば

【出席者】

猪俣恒明（委員長） 石川 智 井上 明 小作正人
荻野喜美雄（会長）佐藤敏光（社長）奥田貴哉（取締役）楠見裕（取締役）石井明美（監査役） 田中洋子（局長）矢口和弥（営業係長）森田一法（制作係長）浅賀なつみ（制作課）高橋 寿（営業課）小山桃子（制作課）鹿島美保（制作課）

瑞穂ケーブルテレビ社長挨拶（佐藤社長）

番組審議委員会は総務省の指導に基づき、番組に対するご意見等をホームページ等に掲載、公開させていただきます。

お忙しい中、番組審議委員会に参加ご協力いただき感謝申し上げます。

業務内容、6月より開始の瑞穂町広報番組、新サービス、瑞穂ケーブルテレビの今後の展望を紹介・説明した。

限られた人員ですが、より良い番組作りを目指し、地域に密着したコミュニティー番組作りを行っています。本日は番組に対する忌憚のないご意見をお願いいたします。

番組審議委員長（猪俣委員長）

皆様の参加で、番組審議委員会が開催できますことに感謝しています。

今年度6月より開始の瑞穂町広報番組開始に触れ、より公平・公正・中立な立場で番組作りを求められている。今後は瑞穂町民から今まで以上に信頼され親しまれるよう審議委員として時には厳しい意見を出しつつ協力していきたい。

本日の会議がより良い番組作りのため、身のある会議となるよう意見を出し合いたいと思います。

【審議事項】

1、レギュラー番組内容について（森田社員）

加入可能世帯数：13,841 世帯

接続世帯数： 4,335 世帯 （加入率 31%） 7 月末現在

- ・「チャンネルを合わせれば瑞穂町が分かる」を目指して取り組んでいる。
- ・視聴率アップのためにも「楽しく」紹介を重視している。
- ・今年度 6 月より「みずほニュース」・「のめっこ！みずほ」・「ENGEI」・「みずほ体操」を新番組としてスタートさせた。
- ・取材内容ジャンルを問わず話題性のあるものをピックアップ。
- ・町内の出来事に特化、町内の多くの人たちを放送に載せる。

2、デイリーニュース開始について（DVD 視聴含む）

・次年度 4 月よりデイリーニュース番組（週 3 日）スタート予定でより新鮮な話題を視聴者に届けていきたい。

* 前段階として台風 21 号・衆議院選挙・トランプ大統領来日の情報を速報対応した。

- ・ SNS ・ ツイッター等でも同時発信 ・ FM 茶笛と連携

3、瑞穂町役場広報番組について（DVD 視聴含む）

- ・ 第 1 回放送から紹介
- ・ 聴覚障害者にもすべての原稿をテロップ対応。
- ・ キャスターは広報課職員、ピックアップ情報等は担当職員が出演しお知らせする。
- ・ 視聴者に対し、番組のご意見ご感想を募集。
- ・ TV 放送終了後 You tube で配信。
- ・ 情報発信に加え、役場職員への親近感をもってもらえることも目的の 1 つ。

4、瑞穂ケーブルテレビ サービス内容紹介（矢口社員）

・ コミュニティー番組を中心に、テレビ・インターネット・電話のサービスを展開している。2 名体制で訪問営業をする中で、お客様からのご紹介で加入して頂くことが多々ある。

- ・ ひかりサービスを瑞穂町全域に展開、4K・8K への対応も万全。
- ・ 最先端の技術を持ちながら、電話一本で駆けつける地域密着対応をしている。

5、意見交換

猪俣：トランプ大統領来日のような取材は、アポイントは簡単にとれるのか？

森田：基本的に横田基地広報課より情報提供をしてもらう。

小作：情報提供のものは簡単に手続きできるが、こちら側からの要望取材は難しい。

猪俣：瑞穂横田交流協会があるから、特別情報をいただけるのか？

森田：特別待遇はないです。マスコミとして公平な情報を受け、作業に入る。

石川：「みずほニュース」と「のめっこ！みずほ」コンセプトの違いは？

森田：「みずほニュース」は基本的に行政のお知らせ。

小作：活字離れの昨今、毎月発行の町報を映像化し多くの町民に伝える。

石川：広報誌が発行されているが、更に映像紹介をしているということですね。

井上：実際、町民間で情報の共有をする際、町報に載っている情報を知らない方がいるため、テレビ放送は有意義で浸透する。

井上：現体制での一週間放送はネタ的に古くなり長すぎではないか？

田中：制作する側としては、一週間更新が手一杯です。ただ来期に開始予定のデイリーニュースがその思いに答え速報性のあるものになると思います。

石川：キャスターを4名で回す意味は？

小作：広報担当全員で行っているが、出演だけでなく各地区の広報取材の際にテレビ出演していたことにより顔が知られより親近感が生まれる。

猪俣：取材先で放送日を伝えることができれば、より視聴率が上がるのではないかと？
放送日が解らないため、見逃しが多くなる。

森田：取材先で放送日を伝えるためにもデイリーニュースを開始する必要性を感じている。

石川：別紙の取材リストは？ここから放送日は決められないのか？

田中：取材のすべてですが、番組によって使い方が違うため放送日は明記できない。

猪俣：学校関係の取材は大事ではないか？

田中：学校現場で視聴希望が多くあることを教育委員会に申し入れている。

小作：学校の児童・生徒の中に取材拒否があり、慎重な対応をして欲しい。

森田：学校間でも温度差があり、取材全面OKと顔の判別NGがあるため配慮している。カメラ取材自体敬遠する学校があるため垣根を壊していきたい。

猪俣：加入数を上げるには、子供を対象とした取材は欠かせない。

田中：子供の映像は視聴者のすそ野が広がるため良い取材対象と感じている。

石川：4局合同少年野球大会（スマイルカップ）は、親御さん達が大勢参加しているのを見ても、すそ野が広がる要素があると思う。またサッカー人口が増えているため取材対象として取り上げては如何でしょうか？

田中：サッカー取材は野球に比べ手薄な面があるため、今後の課題です。

6、瑞穂ケーブルテレビ取締役挨拶（奥田取締役）

審議委員様の貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今年度、制作課の大幅な人事異動があり瑞穂町のことがまだまだ解らない状態のため、審議委員様にはご指導いただきたい。

瑞穂局の番組は評判が良く他局でも視聴がある。4局は離れていますが、交流があり協力体制を取っている。速報性も大事ですがコミュニティ番組としては話題性も重要なところがあるため、違ったご意見も頂きたい。

広報課の支援をいただき、念願の広報番組が開始されました。まだまだ改善の余地があるかと思うのでご意見を伺いたい。

今後、通常の放送とは別に通信（インターネット）を利用した番組作りも必要となる時代になってくるようです。

一年後、いよいよ4K放送の高度BSが配信され、まずは衛星放送から高画質のものが配信されてきます。入間ケーブルテレビグループとしても最新の設備で対応して行きたいと思えます。もちろんコミュニティ放送についても高画質のものに徐々に移行してまいります。

学校導入に関しても進めていますのでご協力をお願いいたします。

7、締め挨拶（楠見取締役）

番組審議委員様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後、瑞穂ケーブルテレビはまだまだ伸び代があります。皆様に観ていただける環境を増やし、必要とされるケーブルテレビを目指します。

更に良い番組制作をするため、今後もお力添えをお願いします。

以上貴重なご意見を頂きました。

本審議会のご意見は、番組に反映させてこそ開催意義が生じます。社員一同、貴重なご意見を番組作りに展開してまいります。